

むかしの植生（森・草原・湿地など）の記録を後世に伝える 植生調査資料データベースの構築とその公開方法に関する研究



自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

橋本佳延

植生調査資料は植生の状態を記録したもので、過去の地域植生を知る上で貴重です。これらは、植生の成り立ちや今後の植生遷移の研究や環境影響評価や保全計画策定などで役立っています。しかし、資料の多くは研究者が個人的に保管しているのが現状で、社会として系統立てて整理・保管されているのはごくわずかです。そのため、研究者の退官や死去により、収集さ

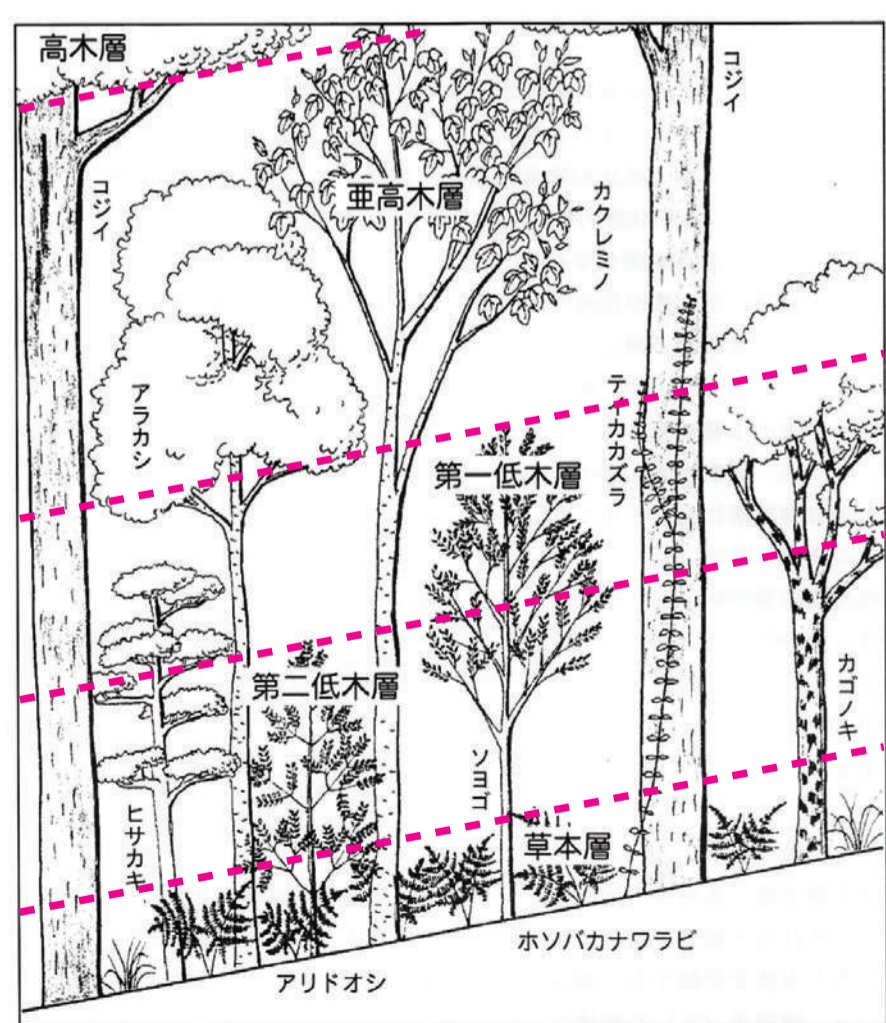
れた膨大な記録の多くが失われる危険があります。

そこで私はこれらの植生調査資料を収集、整理、保管し、活用できるように公開するための、公的機関による植生調査資料データベースの運用のあり方を研究しています。

これまでに研究者・調査者に対して過去の植生調査資料の有効活用と継続的集積を行う上で実際に発生するメリッ

ト・デメリットを明らかにするアンケート調査を行っています。また、今後は国内にどの程度の植生調査資料が眠っているかをアンケート調査する予定です。

植生調査資料データベースはひとくこのHPで試験公開していますので、是非一度ご覧ください。



調査地	調査日	調査時間	調査者	調査種別	調査方法	調査結果
宮城県・東松島郡・線町川中	2020年11月27日	10:10 - 11:27	橋本佳延	森林	目視	コナラ, カシ, シラカシ, アラカシ, ヒサカキ, アリドオシ, ホソバカナワラビ

図 植生断面図 (左) と植生調査資料 (右)

植生調査資料は、植生を構成する植物の種類や立体構造、立地条件を記述した観測データです。種の分布データと異なり、植物の種の在・不在データだけでなく、サイズ（群落高・階層高）や量（階層の植被率、各出現種の被度）を記録しているのが特徴です。



図 試験公開中のひとく植生調査資料データベース (TOP ページ)。2019年1月末現在 13159 地点のデータを公開。詳しくは下記 URL をご覧ください。
http://www.hitohaku.jp/musepub_col/VegetationTop.aspx

本研究は平成 27-30 年度科学研究費補助金若手研究 B「過去の植生の姿を後世に伝える植生調査資料データベースの構築と最適な公開手法の開発」(代表者: 橋本佳延 課題番号: 15K16281) の助成を受けて実施しています。